



**1. 処理の流れ**

開始時に自動的にすべての画像をダウンロードし、おおまかな加工画像の領域を決定する。そして、人間がその領域を妥当であると判断すれば、サーバへ送信を行う。この処理をすべての加工画像に対して行う。

**2. 作戦**

プログラムでは加工画像の領域のみを算出するので、加工画像が原画像に含まれているかどうかは、人間が目を確認を行う。

**3. アルゴリズム**

加工画像と原画像のヒストグラムや特異色などを比較し、それら特徴の差を数値として表す。特徴の差が最も小さい領域を正解領域とする。

**4. 開発環境**

C# on Microsoft .NET Framework SDK v1.1



※開発中

← 20mm

← 20mm

